



ヘッドセット

- [シスコヘッドセット 520 シリーズ \(1 ページ\)](#)
- [シスコヘッドセット 530 シリーズ \(2 ページ\)](#)
- [シスコヘッドセット 560 シリーズ \(5 ページ\)](#)
- [新規および変更情報 \(19 ページ\)](#)
- [関連マニュアル \(21 ページ\)](#)

シスコ ヘッドセット 520 シリーズ

Cisco ヘッドセット 521 および 522 は、Cisco IP 電話 およびデバイスで使用するために開発された 2 つの有線ヘッドセットです。Cisco ヘッドセット 521 は、長時間の着用と快適性を向上させるための単一のイヤークラスを備えています。Cisco ヘッドセット 522 は、騒がしい職場での使用のための 2 つのイヤークラスを備えています。

両方のヘッドセットには、パーソナルコンピューターやモバイル機器用の 3.5mm コネクタが付いています。3.5 mm コネクタを使用すると、ヘッドセットはオーディオジャックに接続する他のヘッドセットと同じように機能します。

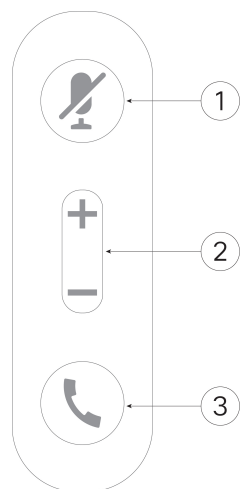
ヘッドセットは、応答、コール終了、コール拒否、保留と再開、ミュート、音量調節など、コール制御機能へのアクセスを容易にするインライン USB コントローラも装備しています。コントローラを使用して、Cisco IP 電話 8800 シリーズおよび Cisco DX デバイスと通信します。

また、インラインコントローラは USB-C コネクタでも使用できます。

他の Cisco デバイスおよびコールクライアントとの互換性に関する完全な情報については、[Cisco Headset 500 シリーズのデータシート](#)を参照してください。

コントローラのボタンは、基本的な通話機能に使用されます。

図 1: Cisco ヘッドセット 520 シリーズコントローラ



次の表は、Cisco ヘッドセット 521 および 522 コントローラのボタンについて説明しています。

表 1: Cisco ヘッドセット 520 シリーズコントローラ ボタン

番号 (Number)	名前 (Name)	説明
1	ミュートボタン	マイクフォンのオン/オフを切り替えます。
2	音量ボタン	ヘッドセットの音量を調整します。
3	コール	コールの管理： <ul style="list-style-type: none"> • 1 回押すとコールを発信します (Cisco IP 電話のみ) • 着信コールに応答するには 1 回押します。 • 電話を終了するには、長押しします。 • 着信コールを拒否するには、2 回押します。 • アクティブコールを保留にするには、1 回押します。もう一度押すと、保留中の通話を取得します。

シスコ ヘッドセット 530 シリーズ

Cisco ヘッドセット 531 および 532 は、Cisco IP 電話 およびほかの通話デバイスで使用するために開発された 2 つの有線ヘッドセットです。Cisco ヘッドセット 531 には、長時間の着用と快適性を向上させるための単一のイヤピースが装備されています。Cisco ヘッドセット 532 には、騒々しい職場で使用するための 2 つのイヤピースが装備されています。

どちらのヘッドセットも、大半の Cisco IP 電話 で使用できる RJ9 コネクタを備えています。RJ9 コネクタを使用すると、ヘッドセットは電話機のヘッドセットポートに接続する他のヘッドセットと同じように機能します。

インライン USB アダプタは、応答、コール終了、コール拒否、保留と再開、ミュート、音量調節など、コール制御機能へのアクセスを容易にする内蔵コントローラでも使用できます。USB コントローラ ケーブルのクイック ディスコネクトを使用して、ヘッドセットをあるデバイスから別のデバイスに移動できます。

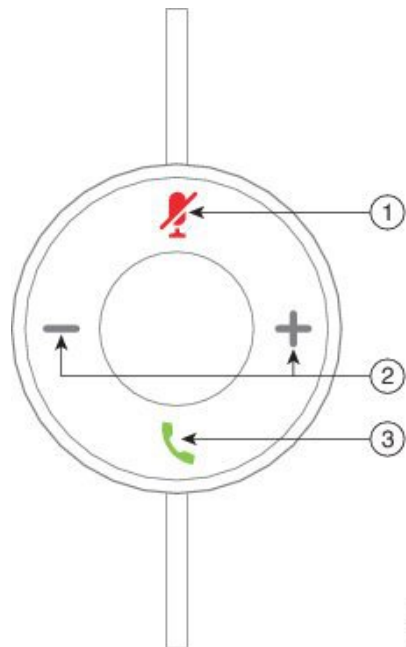
また、インラインコントローラは USB-C コネクタでも使用できます。

Cisco ヘッドセット 530 シリーズの Y 字型 トレーナー ケーブルを使用すると、2 台目のヘッドセットをシスコヘッドセット 530 シリーズに接続することができます。詳細については、[Y 字型 トレーナー ケーブルのシスコヘッドセット 530 シリーズ接続と使用 \(4 ページ\)](#) を参照してください。

他の cisco デバイスおよびコールクライアントとの互換性に関する完全な情報については、[Cisco Headset 500 シリーズのデータシート](#)を参照してください。

アダプタは基本的な通話機能に使用されます。

図 2: Cisco ヘッドセット 530 シリーズコントローラ



次の表は、Cisco ヘッドセット USB アダプタのボタンについて説明しています。

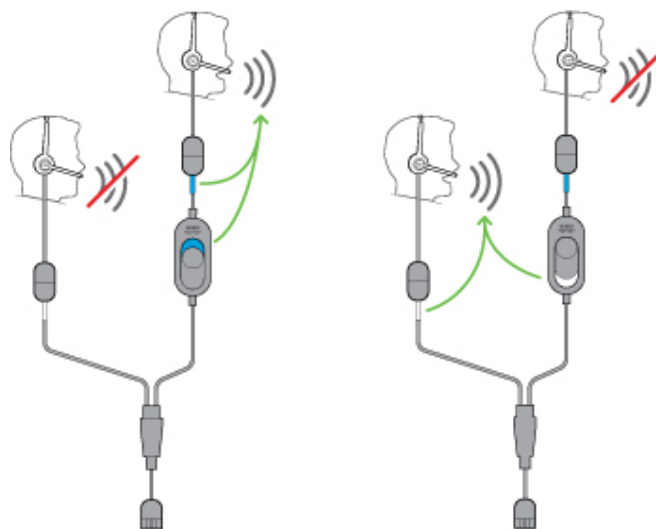
表 2: Cisco USB アダプタのボタン

番号 (Number)	名前 (Name)	説明
1	ミュートボタン	マイクروفホンのオン/オフを切り替えます。

番号 (Number)	名前 (Name)	説明
2	音量ボタン	ヘッドセットの音量を調整します。
3	発信ボタン	<p>コールを発信、応答、および管理する：</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールを発信するには1回押します。(Cisco IP 電話のみ) • 着信コールに応答するには1回押します。 • 着信コールを拒否するには、2回押します。 • アクティブコールを保留にするには、1回押します。 • 電話を終了するには、長押しします。

Y字型トレーナーケーブルのシスコヘッドセット530シリーズ接続と使用

2台目のヘッドセットをY字型トレーナーケーブルを使用してシスコヘッドセット530シリーズに接続することができます。Yトレーナーケーブルによって、トレーナーは、必要に応じて研修者のコールと参加を聞くことができます。トレーナーケーブルのスイッチは、ヘッドセット間の音声制御を交互に行い、必要に応じて、トレーナーまたはスーパーバイザーが簡単にコールに参加できるようにします。ケーブルの各アームの色は、スイッチの色に対応しています。スイッチに青が表示されている場合は、ヘッドセットのブルーバンドのアームがアクティブになっています。スイッチが薄い灰色で表示されている場合は、そのケーブルのライトグレーのアームがアクティブになっています。



手順

- ステップ1 トレーナーケーブルをシスコヘッドセット 530シリーズUSB コントローラに接続します。
- ステップ2 訓練ヘッドセットを、制御スイッチを使用せずにトレーナーケーブルのアームに接続します。
- ステップ3 インストラクターのヘッドセットをスイッチとともに Y ケーブルのアームに接続します。
- ステップ4 トレーナーケーブルのスイッチを使用して、ヘッドセット間で音声フィードバックを切り替えます。

シスコヘッドセット 560シリーズ

シスコヘッドセット 560シリーズは、近代的なオフィススペース向けに設計された2つのワイヤレスヘッドセットモデルです。Cisco ヘッドセット 561 は、軽い装着感と安定性を向上させるための単一のイヤピースを装備しています。Cisco ヘッドセット 562 は、騒がしいオフィススペースで、豊かなサウンドと快適さを提供するデュアルイヤークップを装備しています。このシリーズを使用するには、標準ベースまたはマルチベースのいずれかが必要です。ベースを通話デバイスに接続すると、ヘッドセットを使用して楽に通信ができます。

壁面やドアといった物理的な障害物、あるいは他の DECT 無線ソースからの干渉がある場合を除き、各ヘッドセットベースのデフォルトの使用範囲は、約 45m (145 フィート) です。管理者は、ヘッドセットの範囲を約 330 フィート (100 m) まで増やすことができます。ヘッドセットは、遠く離れると、ベースとのペアリングが解除されます。ベースのランプは、ペアリングされると白色に点灯し、ペアリングが解除されると、点滅します。



- (注) バッテリーを節約するために、ヘッドセットが 20 分以上ペアリングされていない場合は、ヘッドセットの電源が切断されます (ファームウェアリリース 2.1 (1) 以降)。

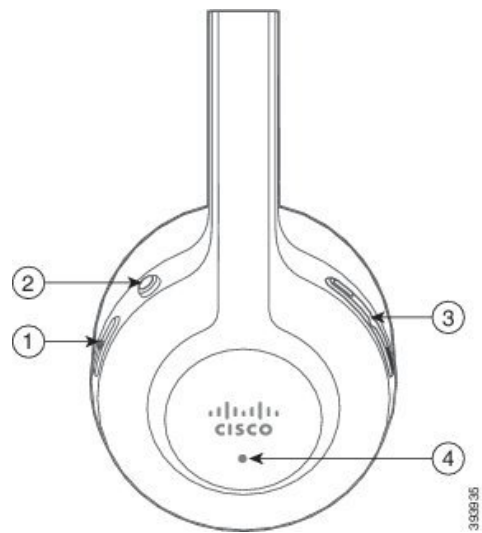
使用するシスコヘッドセット 560シリーズの充電能力は、最大10時間の連続使用ができます。バッテリー残量低下時には、ヘッドセットをベースに取り付けてください。バッテリーが完全に充電されるまで3時間かかります。

ヘッドセットファームウェアリリース 2.1(1)以降では、複数のソフトクライアントを同時に開いているときに、Cisco Headset 560 シリーズでコール制御を維持することができます。たとえば、ビジネス版 Microsoft Skype のコールをミュートしながら、Cisco Webex Teams のコール制御を維持することができます。

他の cisco デバイスおよびコールクライアントとの互換性に関する完全な情報については、[Cisco Headset 500 シリーズのデータシート](#)を参照してください。




ヘッドセットのボタンは、基本的な通話機能に使用されます。

図 3: Cisco ヘッドセット 560 シリーズボタン



次の表は、Cisco ヘッドセット 561 および 562 ヘッドセットのボタンについて説明しています。

表 3: Cisco ヘッドセット 560 シリーズボタン

番号 (Number)	ボタン	名前 (Name)	説明
1		電源および通話ボタン	<p>ヘッドセットの電源のオン/オフに使用します。</p> <p>ヘッドセットの電源をオンにするには 1 秒間押し続けます。</p> <p>ヘッドセットの電源をオフにするには 4 秒間押し続けます。</p> <p>着信およびアクティブコールの管理は 1 回の通話か複数の通話かによって異なります。</p> <p>1 つのコール :</p> <ul style="list-style-type: none"> 着信コールに応答するには 1 回押します。 アクティブ コールを保留にするには、1 回押します。もう一度押すと、保留中の通話を取得します。 着信コールを拒否するには、2 回押します。 電話を終了するには、長押しします。 <p>複数のコール:</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 回押すと、着信コールに応答し、アクティブなコールを保留にします。 コールを保留にするには 1 回押します。コールが再開するにはもう一度押します。現在のコールを終了して保留中のコールを再開するには、トーンが聞こえるまで押し続けます。 トーンが聞こえるまで長押しすると、アクティブコールが終了し、別の着信コールへの応答が行われます。 2 回押すと、現在のコールに留まり、2 番目のコールを拒否します。
2		ミュートボタン	マイクフォンのオン/オフを切り替えます。
3		音量ボタン	ヘッドセットの音量を調整します。

番号 (Number)	ボタン	名前 (Name)	説明
4	該当なし	LED	<p>次のようにヘッドセットのステータスを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 赤の高速点滅: 着信コール。 • 赤く点灯: アクティブコール。 • 白の点滅: ファームウェアのアップグレード中、またはヘッドセットがベースステーションとペアリング中です。 • 白一色: ヘッドセットはペアリングされており、ベースに適切に装着されています。 • 定常パルス: ヘッドセットがアイドル状態でペアリングされ、ベースをから離れています。

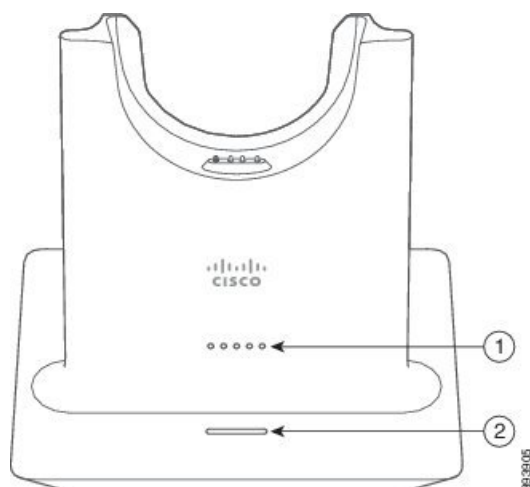
シスコ ヘッドセット 560 シリーズ (スタンダードベース付き)

スタンダードベースは、ヘッドセットが充電できることに加え、ヘッドセットの電池残量とコール状態を示す LED を備えています。また、ベースからヘッドセットを持ち上げたり、置いたりすることで、コールへの応答、終了ができます。

標準ベースには、次のコネクタケーブルが付属しています。

- USB - USB ケーブル: USB 接続のある Cisco IP 電話用
- USB Y 字型ケーブル: USB ポートのない Cisco IP 電話用
- Usb-A から USB C への接続: PC または Mac デバイス用に別途提供されています。

図 4: 標準ベースの LED



次の表で、標準ベースについて説明します。

表 4: 標準ベースの LED

番号 (Number)	名前 (Name)	説明
1	バッテリーのステータス LED	<p>ヘッドセットのバッテリー充電量およびベースのステータスを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ヘッドセットのバッテリー強度 - バッテリーが充電されるにつれ、LED が点滅から点灯に変化します。 • 更新中のヘッドセット - LED が左から右へ順番に点滅します。 • ヘッドセットとベースがペアになっていない - すべての LED が点滅します • 省電力モード - 中央の LED が点灯します。 <p>10分間発信元に接続できないと、ベースは省電力モードに入ります。</p>
2	コールステータス LED	<p>次のように通話状態を通知します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 着信コール： 緑色に点滅 • アクティブコール: 緑色に点灯。 • ミュートコール - 赤色に点灯

シスコ ヘッドセット 560シリーズ マルチベース

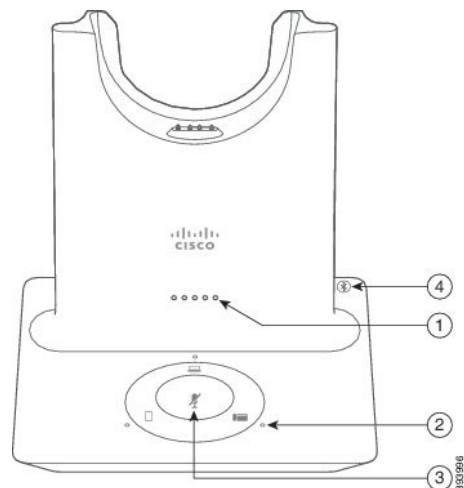
マルチベースは、Bluetooth、USB コネクタ、または Y 字型ケーブルを介して最大 3 つの発信元に接続できます。マルチベースでは、最大 4 つの Bluetooth デバイスを保存できます。マルチベースのボタンを使用して発信元を切り替えることができます。ヘッドセットのコール制御ボタンを使用して、コールの応答と終了を行います。ヘッドセットがベースにある場合、ヘッドセットをベースから取り外すと、自動的に通話に応答します。ヘッドセットをベースに戻してコールを終了することができます。

マルチベースには、次のコネクタケーブルが付属しています。

- USB - USB ケーブル：USB 接続のある Cisco IP 電話用
- USB Y 字型ケーブル：USB ポートのない Cisco IP 電話用
- ミニ USB ケーブル：PC または Mac 用。

- PC または Mac デバイスで個別に使用できる小型 USB を USB-C ケーブルに接続しています。

図 5: マルチベース LED



次の表で、シスコヘッドセット 560シリーズ マルチベースマルチベース LED について説明します。

表 5: シスコヘッドセット 560シリーズ マルチベース マルチベース LED

番号 (Number)	名前 (Name)	説明
1	バッテリーのステータス LED	<p>ヘッドセットのバッテリー充電量およびベースのステータスを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ヘッドセットのバッテリー強度 - バッテリーが充電されるにつれ、LED が点滅から点灯に変化します。 • 更新中のヘッドセット - LED が左から右へ順番に点滅します。 • ヘッドセットとベースがペアになっていない - すべての LED が点滅します • 省電力モード - 中央の LED が点灯します。 <p>10分間発信元に接続できないと、ベースは省電力モードに入ります。</p>

番号 (Number)	名前 (Name)	説明
2	コールステータス LED	次のように各ソースの通話状態を通知します。 <ul style="list-style-type: none"> • アクティブな発信元 - 白色に点灯 • 選択したソースでの着信コール - 緑で点滅 • 選択されていないソースでの着信コール - 緑で点滅 • 選択したソース上のアクティブコール - 緑色に点灯 • 選択されていないソースでのアクティブコール - 緑色に点灯
3	ミュートステータス LED	ヘッドセットがミュートになったときに通知します。
4	Bluetooth ステータス LED	Bluetooth のステータスを通知します。 <ul style="list-style-type: none"> • 発信元とペアリング済み - 白色に点灯 • ペアリングモード - 白色の点滅 • 発信元を検索中 - 白色の明滅 • Bluetooth がオフ - LED がオフ

マルチベースの発信元制御で使用する発信元を選択します。ソースを選択すると選択された各ソースの横の LED が点灯します。

ソースに接続していても、LED が点灯しないことがあります。ソース LED が点灯するのは、ソースが選択されているか、ソースにアクティブなコールがある場合だけです。たとえば、Bluetooth 経由で Cisco IP 電話、PC、および携帯電話に正しく接続されているとします。ただし、それぞれのソース LED が点灯するのは、それが選択されている、アクティブなコールがある、または着信中のときだけです。ソースボタンを押して、ソースが正しく接続されているか確認してください。接続されていない場合は、ソース LED が 3 回点滅します。


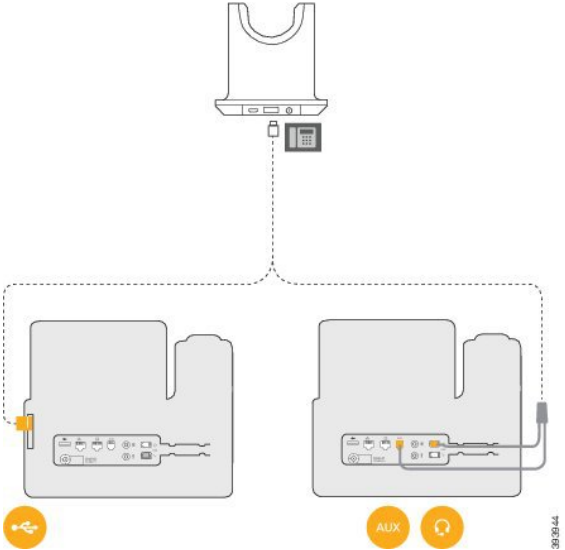

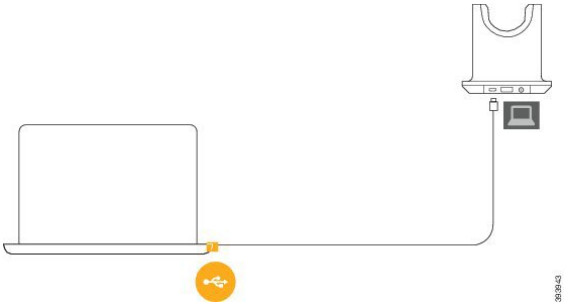
アクティブなコールソースを切り替えることができます。





(注) 別の発信元に切り替える前に、アクティブなコールを保留にします。ある発信元との通話は、別の通話元に切り替えても自動的に保留にはなりません。

次の表に、複数のマルチベースソースアイコンと、それらに対応する接続を示します。

表 6: マルチベース ソース コンソール

ベースアイコン	接続 (Connection)
	 <p data-bbox="756 989 1243 1016">USB - USB コードまたは Y 字型ケーブル</p> <p data-bbox="756 1041 1479 1178">デスクフォンのアイコンは、マルチベースの背面にある中央の USB ポートに対応しています。Cisco IP 電話への接続を目的としていますが、互換性のあるコールデバイスであれば正常に動作します。</p>
	 <p data-bbox="756 1539 967 1566">Micro-USB コード</p> <p data-bbox="756 1591 1479 1728">ラップトップのアイコンは、マルチベースの背面にあるマイクロ USB ポートに対応しています。マイクロ USB ポートは、ラップトップまたはデスクトップコンピュータとの接続に使用されます。</p>

ベースアイコン	接続 (Connection)
	 <p>携帯電話のアイコンは、ベースの背面にある Bluetooth 接続と対応しています。携帯電話のアイコンである場合、ベースは、互換性のある Bluetooth コールデバイスに接続されます。</p> <p>マルチベースでは、最大 4 台の Bluetooth コールデバイスを保存して記憶できます。</p> <p>Bluetooth ソース経由で音楽を聴いている場合、ヘッドセットをベースに置くと音楽は一時停止します。</p>

関連トピック

[マルチベースを Bluetooth デバイスに接続する](#) (13 ページ)

マルチベースを Bluetooth デバイスに接続する

シスコヘッドセット 560 シリーズ マルチベース は、携帯電話やタブレットなどの Bluetooth デバイスに接続できます。お使いの通話デバイスには、ヘッドセットベースは **[Cisco ヘッドセット]** とそれに続くヘッドセットのシリアル番号の最後の 3 桁で示されます。



(注) ヘッドセットのシリアル番号は、ベースの底面の右下隅にあります。

マルチベースでは、最大 4 つの Bluetooth デバイスを保存できます。すでにペアリング済みデバイスが 4 つある場合、最も長い間使用されていないデバイスはベースで置き換えられます。

手順

- ステップ 1** ペアリングを開始するには、マルチベースの背面にある **[Bluetooth]** ボタンを 2 回押します。
- ステップ 2** デバイスの **[設定 (Settings)]** メニューで、ヘッドセットを選択します。
ペアリングが成功すると、Bluetooth LED が白色に点灯します。

マルチベースでの Bluetooth のオン/オフの切り替え

マルチベースは最後に接続されたデバイスを記憶します。マルチベースで Bluetooth をオフにすると、デバイスへの接続が停止します。Bluetooth を再びオンにすると、ベースはデバイスに再接続します。

手順

オンまたはオフにするには、ベースの背面の **Bluetooth** ボタンを 1 回押します。

すべての Bluetooth ペアリングの削除

保存された Bluetooth デバイス ペアリングをすべて消去することができます。

手順

マルチベースの背面にある **[Bluetooth]** ボタンを 4 秒間長押しして、メモリを消去します。

シスコ ヘッドセット 560 シリーズ 会議ソリューション

管理者がヘッドセットを使用した会議を有効にしている場合、最大 3 台のゲストシスコヘッドセット 560 シリーズヘッドセットを標準ベースまたはマルチベースのいずれかにペアリングすることができます。この機能を使用すると、近くに座っているユーザ同士が、お互いに接続したり、1 つのベースを使用して同じ通話に接続することができます。アクティブコールのオン/オフを切り替えることができます。通話の発信元またはマルチベースがミュートされている場合でも、会議に参加しているヘッドセットを使用していると、アクティブな通話を妨げることなく、互いに対話することができます。

通話中に、同僚に通話に参加してもらう必要がある場合は、同僚のヘッドセットをベースとペアリングすることができます。通話が終了しても、同僚とはお互いに接続したままです。プライマリベースとして動作するベースを決定して、同僚のヘッドセットとそのベースのペアリングを行います。ベースに接続する必要がなくなったユーザは、自分のヘッドセットを本来の自分のベースにペアリングすることができます。

ヘッドセットを会議モードで使用するには、ファームウェアリリース 1.5(1)以降が必要です。

ヘッドセットファームウェアリリース 2.1(1)以降は、ヘッドセット会議機能がデフォルトで有効になっています。

ベースが会議モード中は、バッテリー ステータス LED で、接続されているヘッドセットの数と各ヘッドセットのステータスが表示されます。右端の LED は、プライマリ ヘッドセットのステータスを示します。また、中央の LED は、各ゲストヘッドセットのステータスを示しています。ヘッドセットが接続された順番に LED が点灯します。ヘッドセットが接続を切断されても、より最近に接続されたヘッドセットのベースのランプの位置はそのままです。対応する会議モードの LED は、以下の図および表の通りに表示されます。

図 6: マルチベースの会議 LED

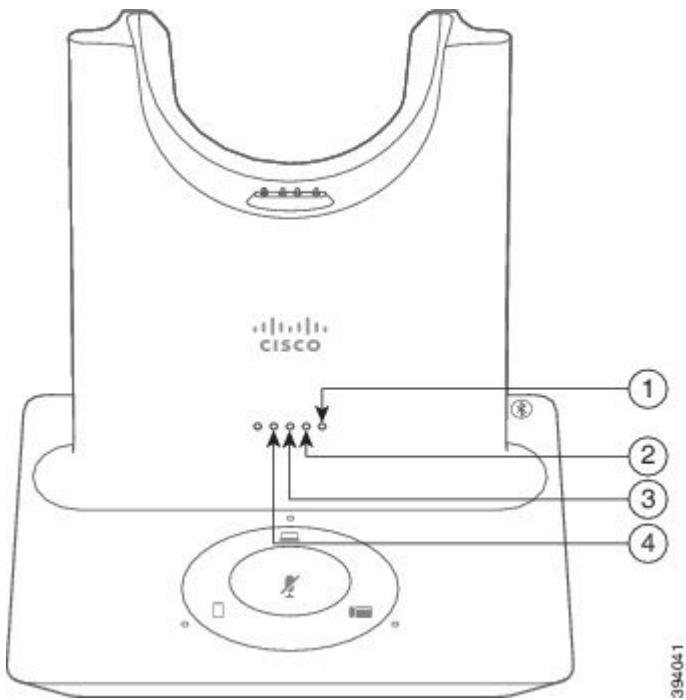


表 7: 会議 LED

番号 (Number)	ヘッドセット
1	プライマリ ヘッドセット
2	ゲスト ヘッドセット #1
3	ゲスト ヘッドセット #2
4	ゲスト ヘッドセット #3

ベースが会議モードになっている場合の LED の動作は以下の表のとおりです。

表 8: 会議中の LED の状態

LED の状態	ヘッドセットのステータス
LED が点灯	ヘッドセットは接続され、ミュートされていない
LED が点滅	ゲスト ヘッドセットがペアリングを待機中
LED が 2 秒毎に点滅	ヘッドセットがミュート中
LED が急速に点滅	ヘッドセットがベースとペアリングできない

LED の状態	ヘッドセットのステータス
LED が消灯	ヘッドセットのベースへの接続が切断されている

ゲストヘッドセットが、会議モード中に独自の調整設定を使用している。ユーザは、他のペアリングされたヘッドセットの設定を変更せずに、ヘッドセットの音量をミュートおよび調整することができます。

ゲストヘッドセットのペアリング

最大3台のゲストヘッドセットをベースにペアリングすることができます。ゲストヘッドセットの調整または音量の設定は、維持されます。ゲストヘッドセットは、ペアリング時にデフォルトでミュートされます。プライマリヘッドセットでは、ゲストヘッドセットがペアリングしようとしている際に、トーン通知が再生されます。プライマリヘッドセットは、10秒以内にゲストヘッドセットを確認する必要があります。プライマリヘッドセットが電話機のゲストを受け入れると、2番目のトーンが再生されます。ゲストヘッドセットの本来のベースのLEDは白で点滅し、ペアリングされたヘッドセットが存在しないことが示されます。



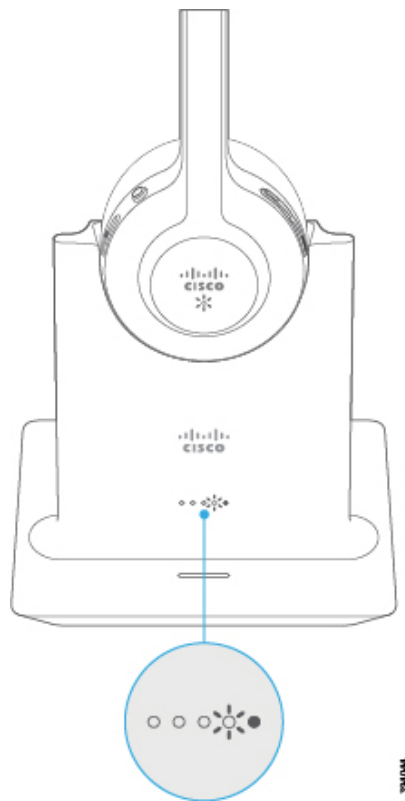
(注) ゲストヘッドセットがペアリングを試みると、プライマリヘッドセットは、ゲストヘッドセットをベースに受け入れるか、拒否するまで、着信を受けることができません。

始める前に

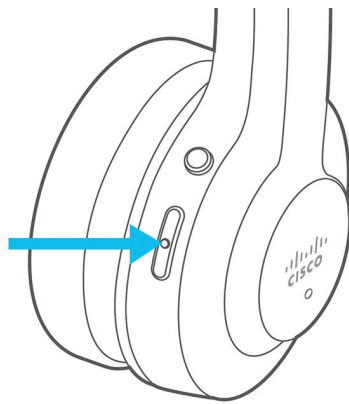
プライマリヘッドセットが、既にベースとペアリングされている必要があります。


手順

ステップ1 ヘッドセットをベースにセットします。



ステップ2 プライマリヘッドセットの発信 を押して、ゲストヘッドセットの参加を有効にします。




ステップ3 オプション：ミュートゲストヘッドセットの  を押して会話に参加します。

ゲストヘッドセットのペアリング解除

ゲストヘッドセットをプライマリベースからペアリング解除することができます。

手順


以下のいずれかの操作を行います。

- ゲスト ヘッドセットの通話  をトーンが聞こえるまで長押しします。
- プライマリ ヘッドセットをベースにセットします。すべてのゲスト ヘッドセットの接続が切断されます。

ペアリングされたプライマリ ヘッドセットの変更

標準ベースまたは マルチベース のプライマリ ヘッドセットを変更することができます。新しいヘッドセットがペアリングされると、以前のプライマリヘッドセットでトーンが再生され、ベースからのペアリングを解除します。

手順

ステップ1 新しいヘッドセットで、LED が赤色と白色が素早く交互に点滅するまで **ミュート**  を5 秒間押し続けます。

ステップ2 新しいヘッドセットをベースにセットします。

(注) 新しいヘッドセットをクレードルに置いた状態でベースの電源を入れ直す場合は、手順1 を省略できます。


プライマリ ヘッドセットのベースからのペアリング解除

新しいプライマリヘッドセットを指定して、現在のヘッドセットをベースから強制的にペアリング解除することができます。これは、プライマリヘッドセットが見つからず、オフになっている場合に便利です。



(注) プライマリヘッドセットがアクティブな通話中あるいは会議モードの場合は、ペアリングの解除はできません。

手順

ステップ1 新しいヘッドセットで、**ミュート**  を5 秒間長押しします。ヘッドセットのLED が赤色と白色で交互に点滅します。

ステップ2 ヘッドセットをベースにセットします。ベースが、新しいヘッドセットをプライマリ ヘッドセットとして指定し、以前のヘッドセットとのペアリングを解除します。

以前のプライマリヘッドセットでは、ベースからペアリングを解除される際にトーン通知が再生されます。

新規および変更情報

ファームウェア リリース 2.1 (1) の新機能

表 9: ファームウェア リリース 2.1(1)に関する Cisco ヘッドセット 500 シリーズ ユーザ ガイドの改訂点

機能	更新されたセクション
Cisco ヘッドセット 560 シリーズの電源を 20 分後にペアリングすると、バッテリー電源が節約されます。	シスコ ヘッドセット 560 シリーズ
Cisco ヘッドセット 560 シリーズでは、同じコンピュータ上で複数のオープンコールクライアントのコール制御を維持できます。	シスコ ヘッドセット 560 シリーズ
ヘッドセットアップグレードの進行状況は、Cisco Jabber UI (Cisco Jabber バージョン 12.9 以降) に表示されます。	Cisco Jabber でヘッドセット ファームウェアを更新する
Cisco ヘッドセット 560 シリーズのマルチベース自動切り替え機能が強化されています。	マルチベース上で別のソースからのコールに応答する
Cisco Webex Teams を使用したアップグレード	Cisco Webex Teams の最新リリースへの Cisco ヘッドセットのアップグレード
Cisco ヘッドセット Web ツールを使用してアップグレードする	シスコ ヘッドセット Web ツールを使用してヘッドセットをアップグレードする
Cisco ヘッドセット 560 シリーズの会議機能は、デフォルトで有効になっています。	シスコ ヘッドセット 560 シリーズ 会議ソリューション (14 ページ)

ファームウェア リリース 2.0 (1) の新機能

表 10: ファームウェア リリース 2.0(1)に関する Cisco ヘッドセット 500 シリーズ ユーザ ガイドの改訂点

機能	更新されたセクション
別の発信元からのコールに回答する シスコ ヘッドセット 560 シリーズ (マルチベース)	マルチベース上で別のソースからのコールに回答する
Cisco Webex DX70 または DX80 によるヘッドセットの問題レポート	Cisco Webex DX シリーズによるヘッドセットの問題レポート
Cisco IP 電話 から電子フックスイッチを有効にする	電話機の電子フックスイッチコントロールを有効にする
Cisco ヘッドセット 530 シリーズ Y トレーナーケーブル	Y 字型 トレーナーケーブルのシスコ ヘッドセット 530 シリーズ接続と使用 (4 ページ)

ファームウェア リリース 1.5(1) の新機能

表 11: ファームウェア リリース 1.5(1)に関する Cisco ヘッドセット 500 シリーズ ユーザ ガイドの改訂点

機能	更新されたセクション
ヘッドセットを使用した会議	シスコ ヘッドセット 560 シリーズ 会議ソリューション (14 ページ) ゲスト ヘッドセットのペアリング (16 ページ) ゲスト ヘッドセットのペアリング解除 (17 ページ) ペアリングされたプライマリ ヘッドセットの変更 (18 ページ) プライマリ ヘッドセットのベースからのペアリング解除 (18 ページ)
Cisco IP 電話 接続中の着信音の追加に対応する更新	通話の発信と応答 通話の発信と応答 マルチベース上で別のソースからのコールに回答する
マルチベース no Bluetooth 機能が更新されました。	マルチベースを Bluetooth デバイスに接続する (13 ページ) すべての Bluetooth ペアリングの削除 (14 ページ)
Cisco Jabber の新しいヘッドセットの設定に更新されました。	Cisco Jabber のイコライザ設定の調節 Cisco Jabber の側音の調整

機能	更新されたセクション
Cisco ヘッドセット設定を管理設定にリセットする	お使いの電話機から Cisco ヘッドセットの設定をリセットする
Webex Teams 通話サポート	シスコ ヘッドセット 520 シリーズ (1 ページ) シスコ ヘッドセット 530 シリーズ (2 ページ) シスコ ヘッドセット 560 シリーズ (5 ページ) Webex Teams ヘッドセットのカスタマイズ

関連マニュアル

関連情報を入手するには、以下のセクションを参照してください。

Cisco ヘッドセットのマニュアル

お使いの言語、ヘッドセットモデル、コール制御システムに固有の資料を参照してください。次のドキュメントリンクから参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/headset-500-series/tsd-products-support-series-home.html>

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/headset-700-series/tsd-products-support-series-home.html>

Cisco Webex ヘルプセンター

Cisco Webex Shareの項目、Cisco Webex Teams、Cisco Webex Calling、Cisco Webex Meetings、およびその他のCisco Webex 製品に関するサポート記事は、次のURLにアクセスしてください。

<https://help.webex.com/>

Cisco IP 電話 6800 シリーズのマニュアル

お使いの言語、電話機モデル、およびマルチプラットフォームファームウェアリリース向けの参照物を参照してください。次のURLから移動してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/ip-phone-6800-series-multiplatform-firmware/tsd-products-support-series-home.html>

Cisco IP 電話 7800 シリーズ マニュアル

お使いの言語、電話機モデル、コール制御システム用の資料を参照してください。次のマニュアルURLから移動してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/index.html>

Cisco IP 電話 7800シリーズ マルチプラットフォーム電話 マニュアル

お使いの言語および電話機モデル向けの資料を参照してください。次のドキュメント URL から参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/ip-phone-7800-series-multiplatform-firmware/tsd-products-support-series-home.html>

Cisco IP 電話 8800シリーズ マニュアル

お使いの言語、電話機モデル、コール制御システム用の資料を参照してください。次のマニュアル URL から移動してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-8800-series/index.html>

Cisco IP 電話 8800シリーズ マルチプラットフォームフォン マニュアル

お使いの言語および電話機モデル向けの資料を参照してください。次のドキュメント URL から参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/ip-phone-8800-series-multiplatform-firmware/tsd-products-support-series-home.html>

Cisco Unified Communications Manager マニュアル

Cisco Unified Communications Manager Documentation Guide およびご使用の Cisco Unified Communications Manager リリースバージョン用の他の資料を参照してください。次のマニュアル URL から移動してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/tsd-products-support-series-home.html>

Cisco Webex DX シリーズのマニュアル

お使いの言語、モデル、およびファームウェアリリース向けの資料を参照してください。次のドキュメント URL から参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/desktop-collaboration-experience-dx600-series/tsd-products-support-series-home.html>